

平成25年行政事業レビューシート

事業名	肝炎研究基盤整備事業		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	疾病対策課肝炎対策推進室		肝炎対策推進室 井上 肇		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	肝炎対策基本法 第18条第1項及び第2項		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	肝炎についての研究は、各地の研究施設等において行われているが、それぞれ独自に行われ、研究の重複や必要な研究への取組不足などの問題が生じていることから、国立感染症研究所において、研究の方向性の調整、研究成果の情報収集・解析・公開、研究者の育成を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国立感染症研究所において、研究成果の情報収集・解析・公開、研究者の育成等を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ウイルス肝炎データベースの構築 ・ 若手研究者育成研修の実施 ・ 肝炎に関する研究情報収集及び研究者や専門医を対象とした情報の発信 							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	36	35	34	30	30	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	36	35	34	30	30	
		執行額	36	34	34			
	執行率 (%)	100%	97%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (28年度)
	肝炎対策基本指針に基づき、研究の方向性の調整、研究成果の情報収集・解析・公開、研究者の育成を行う。		成果実績	%	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	ウイルス肝炎データベースの構築		活動実績 (当初見込み)	件	2 (-)	3 (1)	3 (3)	3 (-)
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	若手研究者向け講習会参加者		活動実績 (当初見込み)	名	16 (12)	- (12)	61 (10)	50 (-)
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	肝炎ウイルスセミナーの開催		活動実績 (当初見込み)	回	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (-)
単位当たりコスト	34百万円/事業		算出根拠	34百万円=34百万円/1事業				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.4	0.4					
	委員等旅費	0.9	0.9					
	社会保障関係情報化業務庁費	29	29					
	計	30	30					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	肝炎研究成果の情報収集・解析、研究者の育成等を行い、研究基盤の整備することで、肝炎研究の促進を図り、成果を国民に還元することが出来る。また本事業を実施するためには、国費の使用が必要不可欠である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	本事業は我が国の肝炎研究の推進を図るために基盤整備を行うものであり、肝炎研究10カ年戦略の中で我が国の肝炎研究の中核的機関として位置づけられている国立感染症研究所で事業を実施することが適当である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	研究の重複や必要な研究への取組不足などの問題が生じている状況に鑑み、本事業により、研究成果の情報収集・解析や研究者の育成等を行い、研究基盤の整備を図るものであり、優先度は高い。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	国立感染症研究所は、肝炎研究10カ年戦略の中で我が国の肝炎研究の中核的機関と位置づけられており、支出先として適当である。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	必要最低限の経費のみ計上しており、コストの水準は妥当である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	事業の実施に必要な支出を行うにあたり、実情を勘案し支出を行っているものとする。		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	研究用の機器等や若手研究者の育成に係る経費等、真に必要な費目・用途に限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	各地の研究施設等で独自に行うよりも効率的に実施することが出来る。とする。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	セミナーの開催回数等見込どおりの実績をあげている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	肝炎ウイルスセミナーやデータベース等の活用により肝炎研究の推進がはかられているものとする。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	当該事業については、若手研究者等の人材育成や、肝炎研究に有用な各種データベースの構築などにより、研究基盤を整備することで、肝炎研究分野の推進を図るものである。平成24年度は執行率が100%となっており、適切に執行された。今後、限られた予算の効率的・効果的な執行に努め、引き続き、研究の推進を図る。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	ウイルス性肝炎に関する研究成果の収集・分析並びに研修者の養成を図る事業であるが、執行状況を踏まえ、予算を縮減すべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	執行状況等を踏まえ、対象者数の見直しを図ったところである。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	264	平成23年	122	平成24年	97

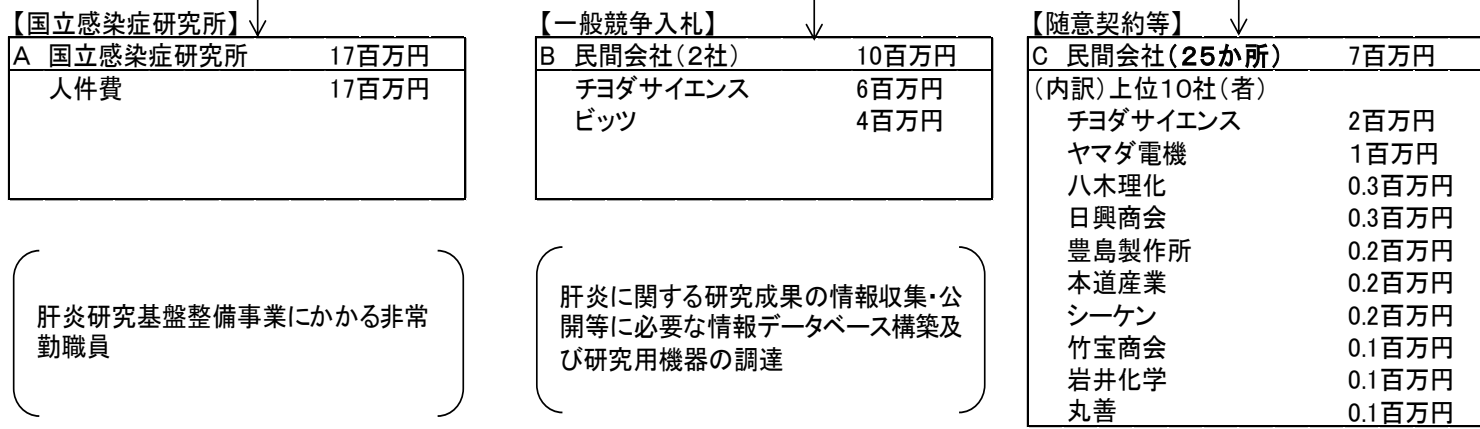
厚生労働省 34百万円

肝炎研究の基盤を整備するため、肝炎研究における中核的機関として役割を担わせるための予算の確保

↓ 支出委任

国立感染症研究所 34百万円

肝炎に関する研究成果の情報収集・解析・分析・公開、研究者の育成等



肝炎研究基盤整備事業にかかる非常勤職員

肝炎に関する研究成果の情報収集・公開等に必要な情報データベース構築及び研究用機器の調達

肝炎に関する研究者の育成に必要な資材等の調達

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.国立感染症研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	賃金	17			
計		17	計		0
B.チヨダサイエンス			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備品費	研究用機器	6			
計		6	計		0
C.チヨダサイエンス			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備品費	研究用機器	1			
消耗品費	研究用消耗品	1			
計		2	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立感染症研究所	肝炎研究基盤整備事業にかかる非常勤職員	17		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ビッツ	研究情報データベース機能更新	4	1	79.9
2	チヨダサイエンス	研究用機器	4	3	99.9
3	チヨダサイエンス	研究用機器	2	2	99.7
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	チヨダサイエンス	研究用機器、研究用消耗品	2	随意契約	
2	ヤマダ電気	研究用機器	1	随意契約	
3	八木理化	研究用消耗品	0.3	随意契約	
4	日興照会	研究用消耗品	0.3	随意契約	
5	豊島製作所	研究用機器、機器修理	0.2	随意契約	
6	本道産業	研究用ガス	0.2	随意契約	
7	シーケン	報告書印刷	0.2	随意契約	
8	竹宝商会	事務用品	0.1	随意契約	
9	岩井化学	研究用消耗品	0.1	随意契約	
10	丸善	研究用書籍	0.1	随意契約	